

シュライパー館横の屋外テーブルで憩う学生たち



佐賀スケッチ

毎週木曜日の午後、佐賀大学にでかける。正門を入ると、授業を終え、道いっぱいになって歩いている学生たちによく出会う。もっと奥に進むとシュライパー館横の屋外テーブルで憩う学生たちがいる。近くの芝生に座って、話し込んでいるグループもいる。

四十年前に、母校で見ていた風景とあまり変わらないが、彼らの姿に出会うと三元気が出るし、佐賀にもこんなに多くの若者がいたのかと驚く。現在、鍋島、本庄両キャンパスで、約七百五十人の留学生を含め、約七

街づくり 学生参画

良き市民への訓練

千四百三十人もの学生たちがいる。この若者たちのエネルギーを街の中に取り込もうと、佐賀市と佐賀大学との間で相互協力協定が結ばれた。

協定の中には「学生が参画する街づくり。学生の学びのアーメニティを向上させる街づくり」という項目がある。具体的なことはこれからだが、学生たちが地域の一員としての自覚を持ち、積極的に地域の活動、例えば、お祭りや体育祭、環境保護活動への参画、子育て支援などのさまざまなことに参画する体験は、彼らが、将来社会人となったとき、どこに住もうと、その地域のことを考えることができる、良き市民になるトレーニングの場になるに違いない。

そして、その結果として、学生たちは地域の若者として認知され、見守られていくことで、今一番求められている安心で安全な生活を送ることができると違いないと思っている。

(佐賀大学理事・北島悦子)
※次回は二十五日付で掲載します。